

広報

2013.AUG

あつま 8

No.732





浜厚真海岸 賑わいの夏！

海浜まつり

第30回

第30回あつま海浜まつり（同実行委員会主催、鈴木英毅実行委員長）が7月28日、浜厚真海岸を会場に行われました。当日は、曇り空で時折雨がポツポツと落ちる中でしたが、娯楽と満腹感とホッキを求めて、町内外からたくさんの方が会場を訪れていました。会場で行われた子ども相撲、スイカ割り、ピーサン飛ばしなどのイベントにもたくさんの方が参加。例年大好評のホッキ貝のつかみどりには、今年も受付時間前から長蛇の列ができるほどの賑わいとなりました。会場を訪れた人たちは、ステージ発表を見たりイベントに参加したり、おいしいものを食べたりと、それぞれ思い思いに夏の1日を過ごしていました。

2013. 7. 28日 フォトスケッチ



体験・交流部門

「田植え体験会」を開催

6月1日に、田んぼのオーナーのイベント第二弾「田植え体験会」が開催されました。当日の午前中は青空が広がり絶好の田植え日和。今回は町内外から15グループ・49人のオーナーの方々にご参加いただきました。

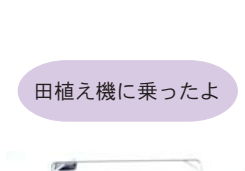
田んぼを管理している農家の方による説明の後、早速みなで田んぼの中へ。大人も子どもも、ぬかるみに足を取られながら苗を一つ一つ手作業で植えていきました。また、田植え機の体験搭乗も行われ、子どもたちに大人気でした。

午後からは特別体験メニューとして、こぶしの湯あつまで「羊毛紡ぎ・フェルト加工」を体験しました。材料は、前回の特別メニュー「羊の毛刈り体験」で刈り取った羊毛を使用。

参加した親子連れは、インストラクターから指導を受けながら羊毛フェルトの加工に挑戦し、最終的に羊の親子のマスコットが完成しました。親子で一緒に作ったマスコットは、とても良い思い出の品になったようです。



親子で羊のマスコットを作りました



田植え機に乗ったよ



みんなで田植え



田んぼの生育状況

6月1日に植えた苗は、順調に生育しているようです。



(7月中旬の様子)

軽トラ市開催中です！

農家の畑から軽トラックで運んだ旬の新鮮野菜を直接購入できます。こぶしの湯あつま正面玄関前で、10月中旬までの土・日・祝日に開催中！



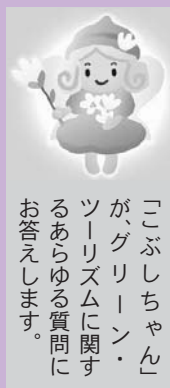
こぶしちゃんの部屋

グリーン・ツーリズムメニューを体験するには？

厚真町内で体験できるグリーン・ツーリズムのメニューの一覧は、厚真町観光協会のホームページ内に掲載されています。ホームページでは、個別メニューごとの体験内容や受け入れ可能時期・人数、所要時間、料金等を調べることができます。

例えば、こぶしの湯あつまの「農産物加工実習室」では、インストラクターの指導のもとで厚真産の食材を用いた加工体験を行うことができますよ。(こちらは事前の申し込みが必要です。)

この他にも、たくさんのメニューがあります。体験メニューに関するお問い合わせは、「厚真町観光協会(☎27-2486)」へ、農産物加工実習室に関する問い合わせは「こぶしの湯あつま(☎26-7126)」までどうぞ！



こぶしちゃんがグリーン・ツーリズムに関するあらゆる質問にお答えします。

厚真町グリーン・ツーリズム運営協議会会員募集！

運営協議会では、一緒にグリーン・ツーリズムの活動に取り組んでくれる会員を募集しています。町民の方ならどなたでも参加できますので、お気軽に事務局までお問い合わせください。

【事務局】役場産業経済課商工観光林業水産グループ(☎27-2486)



厚真町 グリーン・ツーリズム通信 (Vol.5)



厚真町グリーン・ツーリズム
キャラクター「こぶしちゃん」

2カ月ごとに発信している「厚真町グリーン・ツーリズム通信」の第5号です。今回も、厚真のグリーン・ツーリズムの最新の動きをお伝えします。

体験・交流部門

ハスカップフェアで 札幌発のバスツアー客を受け入れ グリーン・ツーリズムメニューを提供

7月6日から21日までの間、ハスカップフェアが開催され、それに合わせて札幌発のバスツアーを2社が企画して計5回開催され、合計200人以上のお客様が厚真町を訪れました。

5回のツアーのうち、1回は今冬に開催された「ものまねキャラバンあつま」の第二弾として開催。ハスカップ狩りとジャムづくりを体験しました。このツアーでは、摘み取ったハスカップを早速ジャムに加工。出来上がったジャムの味に、参加者は皆「おいしい！」と感動していました。その後は、ジンギスカンを味わい、ものまねショーの観覧など、厚真での楽しいひと時を過ごしました。

残り4回は民間の旅行会社主催の「道の駅めぐりツアー」のコースの一部に組み込まれ、ハスカップ狩りと野菜の収穫を体験しました。ハスカップ狩りでは、参加者は果汁で指先を赤く染めながら「この木は甘い」、「こっちは酸っぱい」など、木によって異なる味の違いを楽しんでいました。また、町内の農家のご協力のもと、袋に詰め放題形式で野菜収穫体験が行われ、ハサミを片手にトマトやインゲン、ピーマン、ブロッコリー、ホウレン草などを袋いっぱい詰めてみました。町内での滞在は短時間でしたが、パックいっぱい詰まった生ハスカップや色とりどりの野菜を手にした参加者は大満足の様子でした。



ハスカップ狩りの様子



ハスカップジャム作り



袋いっぱいの野菜に大満足！

▲バスツアーの様子

▼修学旅行生受け入れの様子



受け入れ農家の方と談笑中



みんなで記念写真



それぞれの滞在先へ



ランチタイム中

兵庫県立八鹿高等学校の修学 旅行生が厚真でファームイン

兵庫県立八鹿高等学校の2年生237人のうち、5グループ・15人が修学旅行のコースの一部として6月10日から1泊2日のファームステイを体験しました。

一行は新千歳空港到着後にノーザンホースパークを見学して夕方に厚真町へ到着。受け入れ先農家との対面式を終えた後、町内5戸の農家に分かれてそれぞれの滞在先へ向かいました。夕食ではジンギスカンを味わったグループが多かったようです。

翌日は、個々の農家のお宅で、かぼちゃの植え付けや菊の苗植え、草取りの農作業など、さまざまな体験をしました。北海道を訪れるのもジンギスカンを食べるのも初めてという生徒がほとんどで、厚真町の味覚や風土、そして受け入れ先の農家の方々との交流に感動していました。

健康の大切さを笑いを交えて熱弁

漫才師の宮川花子さんを招き講演会を開催

町主催の健康づくり講演会が7月9日、総合福祉センターで開催され、280人が参加しました。

講師は漫才コンビ、宮川大助・花子の宮川花子さんで「花子の生き生きライフ」と題して講演。終始軽妙・軽快なトークで、ご自身の生い立ちや漫才師になったきっかけ、漫才大賞を受賞するまでの苦勞の日々、花子さんのガン発病や、ご主人の大助さんが倒れた時のことなどを、さまざまなエピソードを交えて講演。重くなりがちな話題にも笑いを交え、シリアスな話の後にはすかさず笑いを挟むという巧みな話術に会場は大いに沸き、盛大な拍手が送られていました。

花子さんは「大助さんが倒れた時は、娘と2人で眠れぬ夜を過ごしたけど、シビアで大変な状況でも笑うことができたんです。あの時は、漫才をやっていた良かったと思います。」

夫が倒れてから、夫婦の絆についてよく聞かれますが、夫には「仲がよい時に倒れて良かったね」と言っています。夫が倒れて思ったのは、老後の先取り（心構え）ができたということ。でも今お話ししたことも、元気でいてくれるから言えることです。おかしいなと思ったらすぐ病院に行くこと、早期発見・早期治療は本当に大事ですよ」と話していました。



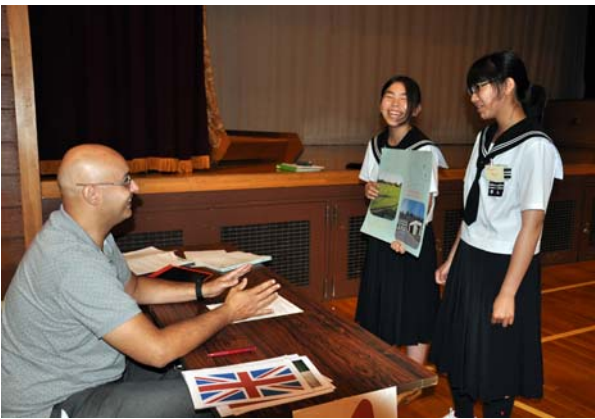
笑いを交え、終始軽快なトークで会場を沸かせた宮川花子さん

英語でPR！厚真中・厚南中で「あつまPRプロジェクト」授業

7月22日・23日の両日、厚南中学校（村田宏文校長）と厚真中学校（石脇正彦校長）で、特色ある授業の一環として「あつまPRプロジェクト」の発表が行われました。

この授業は、生徒が各々調べた町の自然・食・産業・教育・福祉などについて、町内や近隣町から集まったALT（外国語指導助手）に英語で紹介・PRするというもの。

生徒たちは少し緊張しながらも、写真やイラストなどを貼りつけた手づくりのPRボードを使って、自分たちで調べた内容について一生懸命説明していました。



ALTに町のPRをする生徒たち

7月のまちの話題

Town Topics

厚南中・山川さんと中央小・山野下さんが剣詩舞コンクール全国大会出場へ！

7月14日に札幌市で行われた『第4回日本コロムビア全国剣詩舞コンクール北海道地区決戦大会』で、剣舞・幼少年の部で山川侑美さん（厚南中学校1年）が、詩舞・幼少年の部で山野下明音さん（中央小5年）が優勝し、9月に大分県で行われる全国大会へ出場することになりました。

山川さんと山野下さんは、聖月流日本吟剣詩舞道会厚真支部に所属。今回の優勝について藤江月美先生（共和・藤江利津子さん）は「2部門しかない枠を2人が受賞し、驚きと喜びでいっぱいです。全国大会でも、あまり緊張せずに普段どおりに踊ってくれたらと思います」と話していました。山川さんは「優勝すると思わなくて、名前を呼ばれてびっくりしました。全国大会にはすごく上手な人たちが来るので、プレッシャーに負けないように頑張ります」。山野下さんは「名前が呼ばれた時は、驚いて、間違いかと思いました。間違いじゃないとわかってからは、すごくうれしかったです。せつかく賞をもらったので、それに恥じないように頑張りたいです」と意気込みを語っていました。



優勝した山川さん（右）と山野下さん（左）



**生産地で花作りを学ぶ
花き生産連合会現地研修会**
「北海道花き生産連合会現地地研修会」が7月5日、総合福祉センターで開催され、道内各地の花き生産者をはじめ、市場関係者や種苗・肥料会社関係者など約150人が出席しました。
圃場視察では、厚真町花卉部会員の桐木洋光さん（軽舞）と河村敏弘さん（同）の圃場と苦小牧花卉生産組合員の3圃場を見学。参加者は、花の生育具合や生産方法などを興味深く見学していました。



**1日で厚真を丸ごと満喫
日帰りツアーを開催**
7月13日「ハスカップ狩り体験とフォーラムビレッジ散策日帰りツアー」が開催され、札幌や苫小牧から34人が参加しました。
青空が広がる行楽日和の中、ハスカップ狩り体験や大沼の見学、フォーラムビレッジ散策、あづまジンギスカンバーベキュー、町内商店での特産品の買い物、こぶしの湯で入浴と、参加者は1日で丸ごと厚真町を満喫していました。



ゲートボール北海道大会開催

「第28回日本ゲートボール連合杯北海道地域ゲートボール選手権大会」が7月13日と14日、あつまスタジアムで開催されました。
大会には胆振管内をはじめ、札幌、小樽、旭川、北見、十勝管内などから20チーム・約150人が参加し、熱戦を繰り広げました。
選手は、球を目的の場所に投げようと、真剣なまなざしでプレーしていました。

7月23日、かしわ公園（本郷）遊歩道で「すこやかロード」の認定審査が行われました。

これは、北海道健康づくり財団が、気軽にウォーキングなどができるコースとして認定・推奨しているもので、この日は同財団の審査員4人が現地を訪れ、実際に遊歩道を1時間ほど歩きながら担当者から説明を受けました。
審査員からは「地盤が軟弱化していて整備が必要な所もあった。しかし、短いコースは初心者でも気軽にウォーキングを始められるのはセールスポイントになる」と話していました。
今回の審査結果は、9月に発表されます。



本郷・かしわ公園遊歩道で「すこやかロード」認定審査会

給食を食べる感想を話し合うお母さんたち



どんな給食を食べているの？ 厚真中で給食試食会・食懇談会

厚真中学校で7月22日、同中PTA母親委員会（荒谷くに子委員長）主催の給食試食会と町給食センター栄養士との食の懇談会が開催され、17人が出席しました。

給食を食べたお母さんたちは「うす味だけどダシがきいておいしいね」、「家でも作りたい」などと感想を話していました。その後、石川栄養士から学校給食についての説明と質疑応答があり、お母さんたちから給食についての質問や意見が出されていました。荒谷委員長は「とても考えて作ってくださっているの、これからもバランスのとれたおいしい給食をお願いしたいです」と話していました。



本番さながらに訓練を行う救難署員

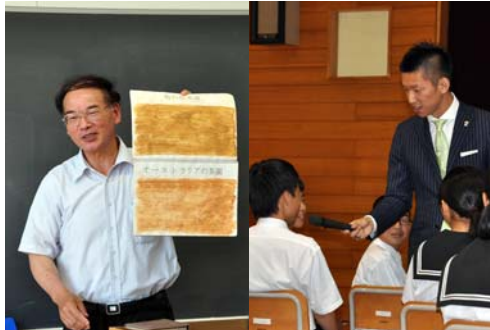
海の安全を守る！救難所で合同訓練

浜厚真救難所と苫小牧救難所の夏季合同訓練が7月20日、苫小牧東港作業船舶だまりで行われました。当日は、両救難所の所員約30人が、救命索発射器によるロープの発射や人形を用いた心肺蘇生法等の訓練を行いました。

訓練は、苫小牧海上保安署をはじめ、厚真町、苫小牧市の関係者約30人が見守る中で行われ、作業が成功した際には拍手が起こりました。訓練の最後には、監督官の近藤寿克保安署長が「機敏で的確な動きを見て、日々の訓練の成果を感じることができた」と講評しました。

厚南中で外部講師による授業を実施

7月8日、厚南中学校（村田宏文校長）の1年生を対象に「土壌分析」の授業が行われました。講師に農業コンサルタントの関祐二さん（静岡県）を招き、学校の家庭菜園の土壌分析結果を題材にしながら「土がどのようにできているのか」や「環境が同じであれば外国でも同じ土が存在する」など、分かりやすく説明していました。また、7月18日には、NPOとしてケニアで支援活動を行っている北田匡生さんを講師に招き全校道徳の授業を実施。『いま、自分にできること』というテーマで講演した北田さんは「夢や目標を持ち、夢の実現のために今できることを考えてみてください」と生徒たちに熱く語りかけていました。



土壌分析(左)と全校道徳(右)の授業の様子

高齢者がペタンクで心地良い汗を流す

7月17日、あつまスタードームで「平成25年度厚真町高齢者レクリエーション大会(ペタンクボール)」が開催され、町内の老人クラブなどから82人・27チームが参加し、心地良い汗を流し、交流を深めました。

ペタンクボールは、的球に自分の球を相手の球よりも近づけることを競う競技で、ボールコントロールとチームワークが求められます。参加者の中には、さまざまな球種を投げ分ける選手もいて、思い通りに的球近くに球を寄せるとチーム内から歓声があがっていました。

【順位】1位:豊松会A 2位:福寿会G 3位:豊松会C 4位:福寿会D



巧みなコントロールでボールを投げる選手

安全運転で！厚真中学校生が街頭啓発

厚真中学校（石脇正彦校長）の生徒会役員と生徒会の呼びかけに賛同した有志生徒約20人が7月17日、本郷地区で交通安全街頭啓発を行い、道行くドライバーに交通安全を呼びかけました。

生徒たちは、停まってくれたドライバーに安全運転をお願いして、手作りのキーホルダーとチラシ入りのティッシュを手渡し。ドライバーの皆さんは笑顔でお礼を言い、受け取っていました。生徒会長の日下菜々子さん（3年）は「厚真は事故の少ない所なので、これが他の町にも広がっていったらいいなと思います」と感想を話していました。



ドライバーにキーホルダーを手渡す生徒

さくら園児が信号機の渡り方をお勉強

7月18日、さくら保育園（金光朋充園長）で、こぐまクラブ主催の交通安全教室が行われ、園児たちが信号機の渡り方を学びました。

園庭に交差点や横断歩道を作り、信号機を設置。苫小牧警察署交通第一課の和崎企画係長から信号機の見方や渡り方を教わった後、お友だちと手をつないで実際に渡る練習をしました。

最初はおぼつかなかった園児たちでしたが、何度か繰り返しているうちに上手に渡れるように。終盤には大きな声で「右見て、左見て、また右を見て、手を上げて！」と言いながら横断歩道を渡っていました。



大きく手を上げて渡りましょうね



笑顔で子どもたちと握手する工藤選手

厚真町出身のプロサッカー選手 工藤さんが厚真F Cキッカーズを訪問

町内東和出身で、来シーズンからサッカーJリーグ・コンサドーレ札幌へ新加入が内定している工藤光輝さん（阪南大・21歳）が7月16日、小学校時代に所属していた厚真FCキッカーズ（藏重瑞監督）を表敬訪問し、子どもたちへエールを送りました。

今回の訪問は、オフを利用して帰省中の工藤さんが、当時お世話になった恩師の藏重監督へあいさつに訪れたことで実現したもの。この日、練習会場の安平町『はだしの広場』を訪れた工藤さんは、厚真F Cキッカーズと早来フェリーレFCの選手たちへ「サッカーを好きになってください。そして、サッカーを通じて仲間をたくさん作ってください」とエールを送り、練習試合を見学しました。

特産品開発支援員2名に委嘱状を交付

地域おこし協力隊・特産品開発支援員の任命式が7月9日と30日に町長室で行われ、札幌市出身の高田真衣さん(38歳)と福島県北塩原村出身の石田拓也さん(40歳)に委嘱状を交付しました。

高田さんは「古民家を生かしてパン屋さんができたらいいなと思っています。また、お米やハスカップを使った製品をはじめ、生産者の方たちの声を聞いて新しいものを考えていきたい」、石田さんは「これまでの経験を生かして、こだわりを持ちつつ、お客さんに喜んでいただける、食べていただけるものを見つけていきたい」と意気込みを話していました。



石田拓也さん(左)と高田真衣さん(右)

練習の成果を発揮！親善ゲートボール

厚真町ゲートボール協会主催の「第26回胆振東部親善交流ゲートボール厚真大会」が7月22日スタードームで開催され、近隣町3町（むかわ・安平・厚真）から全9チームが参加しました。

大会は3コートで全18試合が行われ、参加者の皆さんは、チームで声を掛け合いながら日頃の練習の成果を発揮して、繊細なボールコントロールで球を進めていました。厚真からは、「厚真こぶし」「豊沢」「厚南同好会」の3チームが参加し、他町との親睦を深めていました。

【試合結果】1位:安平混成 2位:早来かしわ 3位:穂別ふれあい



狙いを定め、ショットを打つ選手

自然を観察！田んぼの生きもの調査

7月11日と12日、厚真町土地改良区主催（室蘭開発建設部、胆振総合振興局）の「田んぼの生きもの観察会」が行われ、厚真中央小学校4年生と上厚真小学校3年生が宇隆地区の厚幌導水路（上厚真小は上厚真地区の9区揚水機場）の見学と、用水路で生きもの観察を行いました。

共栄地区の用水路での生きもの観察では、児童が水田横の用水路に大きな網を入れて草や泥ごとすくい、魚や虫などを捕まえて観察。捕まえた中には、北海道のみに生息し、希少種となっている「エゾホトケドジョウ」も見つかり、自然の豊かさを肌で学んでいました。



たくさんとれたよ！！笑顔でポーズ！

～ 文化講演会のお知らせ ～

下記の日程で、平成25年度「厚真町文化講演会」を開催します。

去年は間寛平さん、一昨年は野村克也さんをお招きし、大人気の講演会。今年は、尾木ママこと「尾木直樹さん」が厚真町にやってきます。ぜひ多くの皆さんのご来場をお待ちしています！

平成25年度 厚真町文化講演会

尾木ママ★講演

♡♡♡ 尾木ママの！
本当に伝えたい
教育のこと ♡♡♡

教育評論家 尾木直樹プロフィール

◎法政大学教職課程センター長・教授

◎臨床教育研究所「虹」所長

1947年滋賀県生まれ。早稲田大学卒業後、私立海城高校、東京都立中学校教師として、22年間子どもを主役としたユニークで創造的な教育実践を展開。この間の成果は200冊を超える著書（監修含む）、ビデオソフト、映画類にまとめられている。

「キレる子現象専門家会議」（東京都）委員、「青少年と放送に関する専門家会合」（郵政省、NHK、民放連）委員、「いじめ防止学習プログラム」開発委員長（新潟県）、「放送分野における青少年とメディア・リテラシーに関する調査研究会」（郵政省）委員、「放送倫理機構（BPO）」（NHK、民放連）の「青少年と放送に関する委員会」副委員長、可見市「いじめ防止専門委員会」特別顧問、「大津市立中学校におけるいじめに関する第三者調査委員会」委員等歴任。平成23年度ゆうもあ大賞、第4回ヘアレンティングアワード文化人部門（2011年度）などを受賞。2012年「第63回NHK紅白歌合戦」でゲスト審査員を務める。

2003年に法政大学キャリアデザイン学部教授に着任。2012年4月からは法政大学教職課程センター長・教授に就任。主宰する臨床教育研究所「虹」では、所長として子育てと教育、メディア問題等に関する現場に密着した調査・研究に精力的に取り組んでいる。最近では、TBSテレビ「ひるおび!」やフジテレビ「ホンマでっか!?TV」などの情報・バラエティ番組に多数出演し、「尾木ママ」の愛称で幼児からお年寄りまで親しまれている。



© 2011Isamu Kurosa/bestsellers

日時

平成25年8月28日(水)
18:30～19:40

入場無料

会場

厚真町総合福祉センター大集会室（勇払郡厚真町 京町165）

主催：厚真町教育委員会 お問い合わせ ☎ 0145-27-2495

まちの話題 plus

軽スポーツを通じて絆を深める 第3回厚子連スポーツ交流会を開催



熱戦が繰り広げられたドッチビー

厚真町子ども会育成連絡協議会（野澤政博会長）主催の「第3回厚子連スポーツ交流会」が7月13日、総合福祉センターで行われました。

この交流会は、スポーツを通じて子どもたちの絆を深めることを目的として開催されているもので、今回は町内の小・中学生44人がスリッパ飛ばしやドッチビーを楽しみました。

最初に行われた個人競技のスリッパ飛ばしでは、足を高く上げ過ぎてスリッパが天井にぶつかったり後ろに飛んでしまったりする子や、助走をつけ過ぎて転んでしまったり、ラインを踏んで失格になってしまったりする子が続出。うまくコツをつかんで遠くに飛ばした子には、周りの子どもたちから「すごい！」と歓声が上がっていました。

「社会を明るくする運動」 法務大臣メッセージを伝達

苫小牧地区保護司会（熊谷哲会長）が7月3日、役場を訪れ、宮坂町長に法務大臣のメッセージを伝達しました。当日は、会員が「社会を明るくする運動」と書いたタスキをかけて訪問。熊谷会長が「犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ」などと書かれた谷垣禎一法務大臣のメッセージを代読し、宮坂町長に手渡しました。宮坂町長は「最近では児童を狙った無差別殺傷事件などが起きている。犯罪や非行のない明るい社会を作っていきたい」とあいさつを述べていました。



役場前でメッセージを代読する熊谷会長

7町の民生委員・児童委員が研修交流会

「胆振7町民生委員児童委員研修交流会」が7月12日、総合福祉センターで開催され、150人が参加しました。開会式では、赤坂弘町民生委員協議会会長が「安全で安心な地域社会づくりのためには、住民同士の自主・自発的な支え合いや助け合いが最も大切。住民に一番身近な支援者として活動を行う民生委員・児童委員への期待はますます大きくなっている。今日は積極的な交流・情報交換を図り、今後の活動の活力としてください」とあいさつ。その後、町教育委員会の乾学芸員による講演が行われ、午後からは交流会でゲームなどをして親睦を深めました。



乾学芸員による講演に聞き入る参加者

草花の特徴を学んで寄せ植え体験

厚真町コミュニティ運動推進協議会（松井満男会長）主催の「ガーデニング体験会」が7月26日、総合福祉センターで行われ、コミュニティ推進員や一般町民など約25人が参加しました。今年は、町内の種苗店から梅原智哉さんを講師に招き、資料をもとに実際の花苗を見ながら説明を受けました。その後、参加者は40種類以上の花苗から5本ほど選んで寄せ植えを行い、思い思いの作品を完成させました。

参加者は「たくさんの種類から選ぶのは大変でしたが、普段買わない花苗に触れることができて勉強になりました」と話していました。



花苗を手にして説明する講師の梅原さん

まちかど歳時記



(写真提供：軽舞 河村敏弘さん)

軽舞熱送り

(撮影日・場所：7月30日 軽舞)

明治36年から続く、町の無形文化財に指定されている軽舞地区の「熱送り」。

この行事は、軽舞地区に出身者の多い富山県から伝わったもので、雷の鳴る年は熱（日照り）も害虫もつかないことから「太鼓を雷に見立てて、水田の虫や病気などを太鼓を叩いて追い払う」と伝えられています。

熱送り太鼓は、お祝い事のあった家や保育園などにも立ち寄り、地域の皆さんの安全を祈願しています。

『まちかど歳時記』では、地域の行事の情報や風景等の写真を募集しています。ぜひ、お住まいの地域の行事情報や風景等の写真をお寄せください。お気軽に、まちづくり推進課企画調整グループまで。(☎27-3179)



Kid's Room

みんなでつくる
ごきげんなコーナー
キッズ・ルーム

HAPPY
BIRTHDAY

8

月生まれ

ママも、子どもも
大満足！
『笑顔』大歓迎の空間へ集合！
ママ友同士で気軽に
応募してください！



け あげ は づき
蹴揚 葉月くん6
H19. 8. 8 (上厚真)



ま の かおる
真野 薫くん6
H19. 8. 14 (上厚真)



たかはし ゆうや
高橋 侑也くん6
H19. 8. 17 (宇隆)



かりや りの
刈屋 璃乃ちゃん6
H19. 8. 31 (本町)

笑顔募集中！

誕生日の記念に、お子さんのステキな笑顔で紙面を飾ってみませんか。締め切りはお誕生月の前月20日ごろ。満4歳から満6歳までのお子さんの写真を募集します。どうぞ気軽にお電話ください。(締切厳守)

▶まちづくり推進課 (広報担当) ☎27-3179



人

上厚真

鈴木 すずき和貴さん かずたか

(53歳)

事故に遭わないよう安全運転を！

今年4月から、上厚真駐在所長として赴任した鈴木さん。出身は室蘭市。昭和60年4月に北海道警察官を拝命、芦別警察署を皮切りに、札幌、留萌、美幌、函館など全道各地を回り、前任地は、隣町であるむかわ町の鶴川交番に勤務。警察官になって今年で28年。その大半を、交通事故の処理等を行う事故係を担当していたという鈴木さん。「現場へ赴き、悲惨な交通事故現場を数多く見てきました。死亡事故など、悲惨なものは今でも忘れられないものが多くあります。事故が原因で亡くなられた方を思うとかわいそうでしたし、遺族の方の姿を見るのがつらかったです。でも、誰かがやらなくてはいけない！その思いで任務にあたっていました」と、当時を振り返る。今年の苫小牧署管内の交通事故死亡事故は、昨年と比べると格段に増加しており、そのうちの半数が高齢者によるものだといふ。「高齢者は、若い人と比べて

反応速度が遅くなるので気を付けてほしいですね。交通事故を起こさない、交通事故に巻き込まれないためにも、車間距離を開けて、適正なスピードで運転していただきたいです」と話す。赴任して4カ月。厚真の印象は「厚真は自然が多くていい所ですね。市街地から少し離れると自然があつて、緑が多くて。都会のアスファルトや建物に囲まれた所より自然が多い所のほうが好きなので、気に入っています」とのこと。趣味はカメラ。休日に出かける時には、愛用のカメラと望遠レンズを持ち歩き、気に入った風景などをカメラにおさめているそう。「大沼のスイレンや安平町のハスなど、近くにもお気に入りの場所がいろいろありますよ」と鈴木さん。事故や盗難事件への対応、地区の見回りなど、駐在所の仕事はさまざま。「これからの時期は、お盆や行楽などで日帰りで出かける方も多いと思います。帰宅時など、疲れた状態での運転は特に気をつけてほしいですね。また、秋になるとシカとの衝突事故も増えます。いつ被害者・加害者になるかわからないのが交通事故。事故に遭わないよう、事故を起こさないよう気をつけてください。」

人のうごき

7月1日～7月31日届出分

7月1日～7月31日届出分

--	--

広報7月号「まちの話題」中、
下記に誤りがありました。
訂正して、おわびいたします。

【誤】	株式会社小金沢組
【正】	株式会社小金澤組

平成5年から約10年間、私は町の防災無線のアナウンスを担当していました。最近、ふと氣になつて、当時2回ほど受けさせていた、聞いたアナウンス研修のレポートを開いてみました。レポートには、発声・発音の基礎から原稿の書き方、まとめ方、読み方のコツ、そしてアナウンスに携わる者としての精神論など、数多くのことが書かれていました。読み返してみても、教えるにたくさんのことを教えなくてもらつていたんだなあという驚きと、その時教えてもらつたことが、今でも仕事にも趣味にも活かされてい

ることに、改めてありがたみを感じました。

レポートの中に『言葉の前に心あり』という一文がありました。『どんなに美しい言葉づかいでも、心がなければ伝わらない。そして、聞いている人に内容が伝わらなければ、それは説まなかつたのと同じこと』。

これは広報にも同じことがいえます。どんなにうまく言葉で表現しても、読んでくださる方に伝わらなければ意味がない。：。原稿のマス目とにらめっこしている日々ですが、少しでも皆さんに『云わる』記事が書けるよう頑張ります！（佐）

※水曜日の午後はサークル活動日です。お母さん達の集まりの場にご利用ください。(要予約)

※利用時間 午前10:00～11:30 午後1:00～4:00

※『あそびの広場』 第2・4水曜日10:00～11:30
1歳～就学前までのお子さんとご家族が対象です。手遊び・ゲーム・製作など、季節の遊びも取り入れ、親子で楽しみましょう。

※『Hello えいご!』 開催日の午前中
ALTのアリ先生が来てくれます。遊びながら楽しく英語に触れることができます。年齢に関係なくお越しください!

※『ひよびよ広場』 第1・3水曜日10:00～11:30
0～1歳までのお子さんとご家族が対象です。お子さんを自由に遊ばせながら、親同士の情報交換の場としてご利用ください。

※開放日には、お気軽に遊びに来てください。

※電話相談(9:30～17:00)・来所相談(10:00～16:00)・予約、その他お問い合わせは ☎277-2438 (直通) 子育て支援センターへ!!

クイズ・これなに？

普通救命講習を

A black and white line drawing showing a person in a prone position on the floor, performing a press-up. Their arms are extended forward, and their hands are flat on the floor. Another person is kneeling behind them, supporting their upper back and shoulders with their hands to assist with the movement.



厚高インフォメーション



170

ありがたいっばいの学校祭
～厚高学校祭の一コマ～

7月12日(金)と13日(土)、厚真高校第33回学校祭が行われました。「絆」をテーマに行われた今年の学校祭、その初日のステージ発表の様子から…。

各学年が30分の持ち時間を使い、工夫を凝らしたパフォーマンスをするこの企画。1年生は3つのダンスチームを作り、初々しいダンスを披露しました。続く2年生はダンスと創作劇の2本立てで、その間にスライドショーを挟むという構成。このスライドショーでは、準備段階から裏方として頑張ったクラスメート一人ひとりの写真を心温まるBGMにのせて映像にしました。クラスメートに対する「ありがたい」の気持ちが、スクリーンいっぱいに広がりました。

最後の学校祭となる3年生は、オリジナル脚本による演劇を上演。思い違いから反抗していた生徒たちが、最後に担任の真意を知り、互いの絆を深めていくという内容。実際の担任を想定したこの劇では、最後に出演者がステージに並び、代表が担任への思いを読み上げました。「色々なことがあったけど、先生にはいつも感謝しています。ありがとうございました。」担任には最後まで内緒にしていたというこの劇は、見ている人の心に染みる感動的なものでした。

人と人との絆とは、ほんの少しの優しい気持ちと、大きな大きな感謝の気持ちでできているものだと生徒に教えられた、そんな素敵な学校祭でした。



上厚真小 5年
矢倉 健瑠くん (10)
「龍の形のルームプレートを作りました。絵と文字が混ざらないようにするのがうまくできました。」



上厚真小 5年
西館 賢哉くん (10)
「船が好きなので、船の形のプレートを作りました。船の中に文字を書くのが難しかったです。」

ぼくたちの作品

ぼくの・わたしの
クラスじまん

ともだちっていいな



紹介してくれたのは…

厚真中央小学校
3年生のみなさん

(書いてくれたのは)
森本 真由さん、藏重 快くん、木村 美友さん

その139 厚真中央小学校



中央小学校3年生の学級しようかいをします。中央小3年生は、みんな明るくて、元気いっぱいです。べん強をしているときには、「はい」と大きな声で手をあげたり、へんじをしたりしています。時々けんかもあるけど、すぐにかなおり出来る友だちばかりです。

今、3年生では、漢字テストをがんばっています。一学きには、九十五この漢字を習いました。いっぱい家庭学習をして、一こでも多くおぼえられるようにがんばっています。また、音楽では、リコーダーをがんばっています。リコーダーのテストもしました。習った数は、五こ「シ、ラ、ソ、ド、レ」です。これいいの音もおぼえて、みんな上手に、えんそうしたいです。

これからも、明るくて、元気にすごしていきます。みんなで力を合わせてがんばります。

回答

- ① 神奈川県横須賀市・B型・うお座
- ② 電光石火
- ③ 体操選手
- ④ 【得意】数学 【苦手】音楽
- ⑤ 4カ月
- ⑥ 人が優しいところ、給食がおいしいところ、空が広いところです。
- ⑦ 【趣味】卓球、温泉めぐり
【特技】バック転
- ⑧ 寿司、天ぷら
- ⑨ 『アルプスの少女ハイジ』
- ⑩ 大きな夢を持って、努力しましょう。一緒にたくさん勉強しましょう。

直撃インタビュー
Vol. 17
〇〇先生を紹介します！

厚南
中学校



はりいし たけし
張石 卓司 先生

質問

- ① 出身・血液型・星座
- ② 座右の銘
- ③ 小さい頃の夢
- ④ 得意・苦手だった教科
- ⑤ 厚真に来て何年目
- ⑥ 厚真の良いところ
- ⑦ 趣味・特技
- ⑧ 好きな食べ物
- ⑨ 好きな本または映画
- ⑩ 子どもたちにひと言

文芸あつま ◆短歌◆

初なりのキュウリを今朝の食卓に載せれば緑の匂ひの立ちくる
(本町 飛谷 文子)

見頃なる蓮の花をば見せむとて歌友は暑き日車に馳せ来
(新町 金本 年子)

四世代生きつぐイチイ枝広げ八畳ほどの日影を作る
(上野 宮崎 静恵)

(あつま文芸友の会発行『文芸あつま 第十八号』から抜粋)

お知らせ

第492回ほくでんファミリーコンサートが開催されます

北海道電力㈱主催の「第492回ほくでんファミリーコンサート」が開催されます。
日ごろなかなか聴くことができない尾高忠明さん指揮による札幌交響楽団の演奏ですので、ぜひご家族・ご友人をお誘い合わせの上、お越しください。
なお、入場料は無料ですが、入場には「整理券」が必要です。整理券は下記の窓口で配布していますので、必ず整理券をお持ちください。
※整理券はお1人様2枚までで、なくなり次第配布を終了します。

～ コンサート内容 ～

- 日時 9月4日（水）
開場：午後5時30分／開演：午後6時30分
- 場所 厚真町スポーツセンター（本郷234-6）
- 出演 指揮／尾高忠明
管弦楽／札幌交響楽団
- 曲目
月チャイコフスキー
歌劇「エフゲニー・オネーギン」より“ポロネーズ”
交響曲第5番 木短調男op. 64
月レスピーギ
リュートのための古風な舞曲とアリア第3組曲

整理券配布窓口

- ・役場まちづくり推進課
- ・役場総務課
- ・役場上厚真支所
- ・厚真町教育委員会
- ・厚真町スポーツセンター
- ・ほくでん苫小牧支店

■問い合わせ先

役場まちづくり推進課
事業推進グループ
(☎27-3179)

■道路工事のお知らせ■ 町道本町線が通行止めになります

町道本町線の道路工事のため、下記の期間一部通行止めといたします。通行止め期間中は、終日、通行止めとなりますので、ご協力をお願いします。

また、通行止め期間中は、バス停の位置が変わりますのでご注意ください。

地域にお住まいの皆さんや、通行の際はご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

■工事名：町道本町線道路改良舗装工事

■工事期間：平成25年6月13日～平成25年10月31日

■通行止め期間：平成25年8月17日～9月19日

■発注者および担当課：厚真町役場（建設課土木グループ）（☎27-2451）

■受注者：森田産業株式会社（☎27-2141）



通行止め区間箇所



バス停移設箇所

NHK
BS
プレミアム

に
ぽん
縦断

“秋の旅”

こころ旅²⁰¹³



思い出の場所&エピソード 大募集！

～あなたのこころの風景とエピソードを送ってください～

NHK-BSプレミアム「にっぽん縦断 こころ旅」は、俳優・火野正平さんが「旅人」として、視聴者から寄せられた手紙をもとに自転車で全国各地を巡り、個人のこころの中にある思い出の場所や心に残っている風景など、その場所にまつわる個人のエピソードを全国に紹介する番組です。今年9月から始まる“秋の旅”では、北海道からスタートし、愛知を目指します。

現在、番組では、皆さんからのお便りを募集中です。普段、当たり前に見ている風景の中にも、子どもころの大切な思い出や出来事など、さまざまなエピソードが隠されていると思います。観光地での出来事でも構いません。「何気ない風景」「思い出の風景」「忘れられない風景」「みんなに伝えたい風景」など、皆さんのこころの風景とエピソードをお送りください。

ユニークで個性的なエピソードも大歓迎です！たくさんのご応募をお待ちしています。

■応募内容：次の内容を明記の上、ご応募ください。

住所、氏名、電話番号、性別、年齢、思い出の場所、場所にまつわるエピソード

※エピソードをお寄せいただく地域は、日本国内に限らせていただきます。

※写真も大歓迎です！

※番組で紹介できるのは数カ所になりますが、番外編やホームページ等で可能な限り皆さんの「こころに残る風景」を紹介させていただきます。

■応募方法：下記のいずれかの方法でお送りください。

・番組ホームページから <http://www.nhk.or.jp/kokorotabi/>

・FAXから 03-3465-1327

・お便りで ☎150-8001（住所記載不要）NHK「こころ旅」係

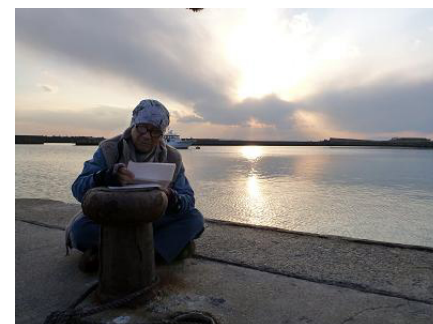
■応募期限：平成25年9月2日（月）

放送日時

平成25年9月23日（月）～
平成26年2月2日（日）

※北海道編は、9月23日～
9月29日まで（予定）

（月～金）7:45～8:00
（土）11:00～11:59
（日）11:30～12:29



（写真提供 NHK）

今月の担当
保健師 高島 美奈

夏の体調管理く熱中症を予防しましょう

夏本番、レジャーやキャンプなど屋外での活動の機会も増えてきていること
と思います。ニュースでも盛んに取り上げられているように、夏の活動には『熱
中症』の危険が隣り合わせです。毎年のことだけに、熱中症については多くの
人がよく知っているように感じられますが、再度熱中症について確認し、しっ
かり対策を行いましょ

熱中症はなぜ起こる？ 熱中症のメカニズム

私たちの体は、暑さを感じると
2つの働きで体温を調節していま
す。

①皮膚の血管を広げ、血液量を増
やし、皮膚の表面から熱を体外に
放出する。

②汗をかき、その汗が体から蒸発
する時に体の熱と一緒に放出す
る。

気温や湿度が低ければ、この2
つが正常に働き、うまく体温調節
を行います。しかし、気温が体温
より高いと、皮膚から熱の放出が
しづらくなります。また、湿度が
高いと汗が蒸発せず、皮膚の表面
にたまったり、ダラダラ流れ落ち
たりするだけで体に熱がこもって
しまいます。

そのままにしておくと、大量に
発汗して水分や塩分が失われ、体
は脱水状態になります。すると、
体は脳や心臓の血流量を確保する

熱中症の症状

分類	症状	原因・対処法
熱失神	めまい、失神	高温、直射日光によって 全身の血管が拡張し、血 圧が下がることによって 起こる。
熱けいれん	痛みを伴った筋肉痛、けいれん (足や腹部の筋肉に発生しやすい)	汗で水分・塩分が奪われ、 血液中の塩分が不足して 起こる。水分摂取不足は もちろん、水分だけの摂 取で塩分が不足した時にも 起こる。
熱疲労	発汗多量、皮膚は青白く、体温 は正常かやや高め、めまい、頭痛、 吐き気、倦怠感	体内の水分・塩分不足、 いわゆる脱水症状による もの。熱射病の前段階と もいわれ、この段階での 適切な対処が重要。 自分で水分をとれないよ うなら、すぐに病院で手 当てを受ける。
熱射病	汗はかいておらず、皮膚は赤く熱 っぽい、高体温、めまい、吐き 気、頭痛、意識障害、全身けい れんなど	脱水状態がすすみ、体温 調節機能が異常をきたし た状態。 そのままにしておくと死 に至る可能性があるの で、すぐに救急車を手配 する。

熱中症の症状

ために皮膚の表面などの血管を狭
くして発汗を止め、さらに熱の放
出を難しくしてしまいます。

熱中症の症状は、左表のとおり
4つに分類されます。

自分では「ちよつと調子が悪い
な」程度に感じている間に症状が
進んでいくことが多いので、我慢

熱中症が 起こりやすい条件

- ・気温が高い日
- ・湿度が高い日
- ・風が弱く、日差しが強い日
- ・風通しの悪い室内や車内
- ・涼しい室内から急に外に出て作
業をした時 など

せずに早めに適切な対処をしまし
よう。

熱中症に なりやすい人

- ・乳幼児
- ・高齢者
- ・肥満がある人
- ・脱水傾向の人（下痢など）
- ・熱がある人
- ・高血圧や糖尿病などの持病があ
る人
- ・睡眠不足・体調不良の人
- ・過度に厚着をしている人 など

熱中症予防のための 水分補給のコツ



喉が渇く前から こまめに水分補給を！

起床時、食事の時、食間、入浴
前後、就寝前など、生活の節目に
少しずつでも水分をとりましょ
う。

水分だけでなく 塩分補給も忘れずに！

薄めたスポーツドリンクなど
で、塩分や電解質を補いましょう。
※スポーツドリンクには糖分が多
く含まれていて、甘すぎると水分
の吸収を妨げます。少し水で薄め
ると吸収が良くなります。
他にも、梅干しやみそ汁をとる

今日のつ・ぶ・や・き

皆さんは、夏と言えばこれ！と想像する食べ物は何
でしょう？
私は学生時代住んでいた
アパートの側にあるお店の
スープカレーを想像します。
この店の味が大好きで、
毎年このスープカレーを食
べないと私の夏は始まりま
せん！！

熱中症を予防して、今年の夏も
楽しい思い出を作りましょ

救急車を呼びましょ

※失神や意識障害がある時には、

熱中症に限らず、低血糖発作や心

筋梗塞、脳梗塞など、ほかの疾患

発症の可能性があるため、すぐに

救急車を呼びましょ

を呼ぶ

自分ですら水分補給できない時や意

識がない時には、すぐに救急車

を呼ぶ

意識があり、吐いていなければ

水分補給させる

・脇の下、首筋、足の付け根を冷

やす（顔や手を湿らせたり、ぬ

れたタオルを当ててあおぎ、体

を冷やす）

・涼しい場所に移動し、ベルトや

ボタンなどを外し、衣服を緩め

る

熱中症に なってしまったら



ことでも塩分を補給できます。

★町民福祉課は総合ケアセンター『ゆくり』内(〒26-7871)に、子育て支援センター「ゆうゆう島」はこども園つみに併設されています(〒27-2438)。

ほけんの掲示板・9月

なかよし広場・乳幼児相談(厚南会館)

とき 3日(火) **受付** 厚南会館 10:00～10:45
対象者 H24年6月～H25年7月生まれのお子さんと保護者
内容 10:00～10:45 受付
10:00～11:00 計測、相談、自由遊び
11:00～11:30 なかよし広場(手遊び、パネルシアターなど)
持ち物 母子健康手帳、バスタオル
その他 乳幼児相談となかよし広場を同時に開催します。
計測は上記の対象児に行いますが、なかよし広場は就学前のお子さんならどなたでも参加できます。

3歳児健診

とき 4日(水) **ところ** 総合ケアセンターゆくり
受付 個別にご案内します
対象者 H22.5.16～9.4生まれのお子さん
持ち物 母子健康手帳、アンケート類、早朝尿、歯ブラシ

乳幼児相談

とき 5日(木) **受付** 子育て支援センター 10:00～11:00
対象者 H24年6月～H25年7月生まれのお子さんと保護者
持ち物 母子健康手帳、バスタオル

不活化ポリオ予防接種※1 四種混合予防接種※2 (ジフテリア・破傷風・百日咳・ポリオ)

とき 9日(月)～13日(金) ※12日(木)午後は休診です
ところ あつまクリニック
受付 接種希望当日に、必ず町民福祉課で受付を行ってください。(受付時間 9:00～11:30、14:00～16:30)
対象児 生後3カ月～90カ月までで、1期初回到該当するお子さん
〔※1の方〕生ポリオワクチンをすでに2回接種している方は接種不要です。
〔※2の方〕ポリオ予防不活化ワクチンおよび三種混合予防ワクチンを1回でも接種している場合は、原則対象外です。
【標準的な接種年齢】生後3カ月～12カ月
※できるだけ、標準的な接種年齢の間に接種を受けてください。
※不明な点は、町保健師にご相談ください。
持ち物 母子健康手帳、印鑑

苦小牧市夜間・休日急病センター(内科・小児科のみ)

曜 日	受 付 時 間	(住所) 苦小牧市旭町2-9-2 (☎ 0144-35-0001) (FAX 0144-35-9099)
月曜日～金曜日	19:00～翌朝7:00	※休日は当番医のほかに、急病センターも診察を受け付けています。
土曜日	14:00～翌朝7:00	
日曜日・祝日	9:00～翌朝7:00	

★「苦小牧市医師会ホームページ」にも休日当番医表を掲載しています。
<http://www.toma-med.or.jp/>
また、携帯電話でも休日当番医のWebサイトにアクセスできます。
携帯電話用URL <http://www.toma-med.or.jp/phone/>
※ご利用の携帯電話の種類によっては、うまく表示できない場合がありますのでご了承ください。

母 親 教 室

とき 10日(火) 10:00～13:00
ところ 総合ケアセンターゆくり
対象者 町内在住の妊婦さんとパートナー
持ち物 母子健康手帳、筆記用具、エプロン、手拭きタオル
申し込み 9月3日(火)までに町民福祉課健康推進グループへご連絡ください。
その他 調理実習を行います。動きやすい服装でお越しください。

1歳6カ月児健診

とき 18日(水) **ところ** 総合ケアセンターゆくり
受付 個別にご案内します
対象者 H23.12.6～H24.3.18生まれのお子さん
持ち物 母子健康手帳、アンケート類、歯ブラシ

三種混合予防接種

とき 17日(火)～20日(金) ※19日(木)午後は休診です
ところ あつまクリニック
受付 接種希望当日に、町民福祉課で受付を行ってください。(受付時間 9:00～11:30、14:00～16:30)
対象児 ①1期初回：初めて予防接種を受ける場合は、生後3カ月～12カ月が標準的な接種年齢となります。今までに1期初回を1回以上接種していて、生後12月を越えている場合は、48カ月までにできるだけ終了してください。
②1期追加：1期初回接種(3回)終了後、12カ月～18カ月までにできるだけ終了してください。
※上記以外の場合は、町保健師にご相談ください。
持ち物 母子健康手帳、印鑑

MR混合(麻しん・風しん)予防接種

とき 24日(火)～27日(金) ※26日(木)午後は休診です
ところ あつまクリニック
受付 接種希望当日に、町民福祉課で受付を行ってください。(受付時間 9:00～11:30、14:00～16:30)
対象児 ①生後12カ月～24カ月までのお子さん
②H19.4.2～H20.4.1生まれのお子さん(小学校就学1年前のお子さん)
※上記以外の場合は、町保健師にご相談ください。
持ち物 ①②の方：母子健康手帳、印鑑

ヒブ感染症予防接種※1 小児肺炎球菌感染症予防接種※2

とき 毎週 月曜日～金曜日
※木曜日の午後および祝日は休診です
ところ あつまクリニック
受付 接種希望当日に、必ず町民福祉課で受付を行ってください。(受付時間 9:00～11:30、14:00～16:30)
対象児 生後2カ月～60カ月までのお子さん
標準的な接種年齢
〔※1・2共通〕初回接種開始：生後2カ月～7カ月
〔※1の方〕追加接種：初回終了後、おおむね1年後
〔※2の方〕追加接種：生後12カ月～15カ月
※上記以外の場合は、町保健師にご相談ください。
持ち物 母子健康手帳、印鑑

【お知らせ】9月の日曜・祝日当番医は『情報ひろば』に掲載しています。

厚真町戦没者追悼式を行います

町では、「厚真町戦没者追悼式」を次の日程で開催します。
町民の皆さんにご参列いただき、先の大戦で亡くなられた方々に哀悼の意を賜りますようご案内いたします。

日時

8月30日(金) 午前11時

場所

総合福祉センター

問い合わせ先

役場町民福祉課福祉グループ

(☎26-7872)

児童扶養手当等の現況などの提出を

【児童扶養手当の現況届】

この届出は、受給者世帯の所得の状況や児童の養育の状況を確認するための届けです。

この届けを提出されないと、8月分以降の手当の支給を受けることができなくなりますので、必要な書類を持参の上、必ず手続きをしてください。

提出期限

8月30日(金)まで

提出に必要なもの

- ①現況届 ②印鑑

③世帯全員の住民票

問い合わせ先

胆振獣医師会 (☎0144-33-0306)

35cm未満のマツカワは海中に還元を

現在、カレイの一種であるマツカワ(別名タタカ、タカノハ)の天然魚は少なく、ほとんどは人が育てて海へ放流した魚です。

函館市恵山岬からえりも町までの渡島、胆振、日高管内の太平洋沿岸では、このマツカワの

9月の運転免許証更新時講習の日程

苫小牧市交通安全センターで行っている運転免許証更新時講習(優良)の日程をお知らせします。

◆午前10時30分: 2日(月)、3日(火)、5日(木)、10日(火)、18日(水)、開講 20日(金)、24日(火)、26日(木)、30日(月)

◆午後1時30分開講: 4日(水)、11日(水)、25日(水)

◆午後3時30分開講: 12日(木)、27日(金)

※このほかの講習日程(一般、違反、初回)については、下記までお問い合わせください。

※優良は5年以上継続して免許のある方で、過去5年間無事故・無違反の方。

■問い合わせ先 (社)苫小牧地区交通安全協会 (☎0144-33-1458)

- ④養育費等に関する申告書
- ⑤同居扶養義務者に関する調書
- ⑥同意書
- ⑦前住所地の所得証明書(今年1月2日以降に厚真町に転入された方のみ)

【特別児童扶養手当所得状況届】

この届出は、受給者の世帯の所得や養育状況を確認するための届けです。

この届けを提出されないと、8月分以降の手当を受けることができなくなります。

提出期限

9月10日(火)まで

提出に必要なもの

- ①所得状況届 ②印鑑

③同意書

④前住所地の所得証明書(今年1月2日以降に厚真町に転入された方のみ)

⑤別居監護申立書(対象児童と別居している場合のみ)

提出先・問い合わせ先

役場町民福祉課子育て支援グループ(総合ケアセンター「ゆくり」内 ☎26-7871 内線102)

受付

「あつま町電話帳」の本年度版を発行します

商工会女性部では、平成26年3月に最新版の町内電話帳を発行します。

現在、転入された方の追加や、すでに電話帳に掲載されている方の住所・氏名等の変更・削除を受け付けています。

追加や変更・削除等をご希望の方は、8月31日(土)までにご連絡ください。

問い合わせ先

商工会女性部(担当/木本) (☎27-2456 FAX27-3877)

返還

戦後、海外から引き揚げて来られた方々へ

税関では戦後、海外から引き揚げて来られた方々からお預かりした約87万件の未返還の保管証券類をお返ししています。

返還の請求は、ご本人だけでなくご家族の方々でも構いません。「もしかしたら家にも…」とお気づきの方は、お気軽に最寄りの税関までお問い合わせください。

問い合わせ先

・苫小牧税関支署統括監視官(総括部門)(苫小牧市港町1丁目6番15号 苫小牧港湾合同庁舎 ☎0144-34-1195 3)

パソコン講習を行っています

苫小牧地域職業訓練センターでは、パソコン講習およびパソコン関連資格試験対策講座を開設しています。

センターでは、パソコンの『パの字』から覚えたい、もつと実務に役立つ機能を覚えたい、少人数でも実施してほしい、という要望にお応えして、多様なコースを多数計画しています。毎月異なるコースを計画しています。詳しくはお問い合わせください。

9月講習予定・受講料など

苫小牧地域職業訓練センターのホームページをご覧ください。

問い合わせ先

苫小牧地域職業訓練センター(ホームページ) <http://www.tonakonaiac.jp/> (☎0144-55-6622)

入校前適性相談を実施します

国立北海道障害者職業能力開

発校では、求職中の障がい者(応募希望者)の入校前適性相談を実施します。

実施期間

7月1日〜平成26年3月14日まで

※詳しくは、国立北海道障害者職業能力開発校または最寄りの公共職業安定所までお問い合わせください。

問い合わせ先

国立北海道障害者職業能力開発校(☎073-0115 砂川市焼山60番地 ☎0125-52-2774 FAX0125-52-9177)

胆振動物愛護フェスティバルを開催します

胆振獣医師会では「第7回胆振動物愛護フェスティバル」を開催します。

犬や猫の新しい飼い主さん探しをはじめ、馬・牛などのふれあい体験など、アトラクションが盛りだくさん!皆さんの越しをお待ちしています。

日時

9月1日(日) 午前10時〜午後3時

場所

ノーザンホースパーク(苫小牧市美沢)

入場料

無料

8/1~8/31 北方領土返還要求運動 強調月間

戦後、未解決であった領土問題のうち、奄美群島、小笠原諸島、そして沖縄が祖国に復帰しましたが、北方領土すなわち、歯舞群島・色丹島・国後島・択捉島の四島の祖国復帰は未だ実現していません。

終戦当時、これら四島には約17,300人の島民が住んでいましたが、領土問題が未解決のため、生まれ故郷に帰ることもできません。

北方領土は、福岡県とほぼ同じ面積のある美しい自然と豊かな資源に恵まれた島々であり、古来私たちの先人が住み、開拓し、一度も外国の支配を受けたことのない日本固有の領土です。

領土問題の解決には何といっても全国民あげての力強い世論の支持が必要であり、その世論の盛り上がりの中で、外交交渉を推進することが最善の途です。

■実施期間 8月1日から8月31日まで

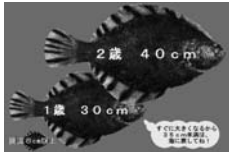
■実施団体 北海道、市町村および関係団体など



稚魚の放流を行っています。

この海域では資源保護のため、海区漁業調整委員会の指示により、全町35cm未満のマツカワは、漁業者も釣り人も海中に還元しなければなりませんので、皆さんもこの内容を守るようお願いいたします。

■問い合わせ先 胆振海区漁業調整委員会事務局 (☎0143-24-9812)



全国一斉「高齢者・障害者の人権あんしん相談」強化週間のお知らせ

平成25年9月9日(月)から15日(日)までは、全国一斉「高齢者・障害者の人権あんしん相談」強化週間です。

高齢者や障害者に対する虐待や嫌がらせなど、高齢者や障害者の人権に関する悩みごとや心配事について、法務局職員や人権擁護委員が相談時間を延長して対応し、解決に導きます。

相談は無料で、秘密は厳守されます。お気軽にご相談ください。

●みんなの人権110番 (全国共通人権相談ダイヤル) ☎0570-003-110

●相談時間 9月9日(月)~13日(金) 午前8時30分~午後7時 9月14日(土)・15日(日) 午前10時~午後5時

9月の日曜・祝日当番医					
日程	区分	病 院 名	住 所(苫小牧市)	電話番号(0144)	
1日(日)	内科系	三好内科胃腸科クリニック	豊川町3-6-1	75-7711	(診察時間)9:00~17:00 当番医は変更になることがあります。 新聞等で確認するか、当日病院へお問い合わせください。 (お知らせ) 『北海道救急医療・広域災害情報システム』を利用して近くの医療機関などが検索できます。 ホームページアドレス http://www.qq.pref.hokkaido.jp 電話 フリーダイヤル 0120-20-8699 携帯電話・PHSからは 011-221-8699
	外科系	わだ脳神経外科クリニック	表町2-1-16	37-3711	
8日(日)	内科系	いちむら小児科医院	ときわ町5-18-5	67-1111	
	外科系	同樹会苫小牧病院	新中野町3-9-10	36-1221	
15日(日)	内科系	川口小児科医院	しらかば町6-15-27	73-0500	
	外科系	苫小牧日翔病院	矢代町2-9-13	72-7000	
16日(月・祝)	内科系	柴田内科循環器科	桜木町1-24-18	71-2225	
	外科系	苫小牧泌尿器科・循環器内科	明野新町2-1-12	57-0455	
22日(日)	内科系	勤医協苫小牧病院	見山町1-8-23	72-3151	
	外科系	ともより整形外科	東開町4-21-22	57-8211	
23日(月・祝)	内科系	苫小牧澄川病院	澄川町7-9-18	67-3111	
	外科系	ケーアンドエークリニック	日新町2-6-1	71-2000	
29日(日)	内科系	川村クリニック	有珠の沢町4-20-31	74-5577	
	外科系	アーク整形外科クリニック	ときわ町3-15-34	68-6111	

丸山 さくらちゃん
H 21・9・11 生
父—圭 司さん
母—雅 子さん
(表 町)

●—わが家のアイドルはこんな子です。—●

「折り紙遊びが好きで、折ったり広げたりを繰り返すのが面白いようです。最近は外で焼肉をするのを楽しみにしていて、大好きなホルモンをよく食べています。アイスも大好きです。」



尾形 ^{みゆ}心優ちゃん
H 21・9・20 生
父—雅 洋さん
母—留美子さん
(朝 日)



まちのアイドル 364

●—わが家のアイドルはこんな子です。—●

「小さい頃から何でも自分でする、活発な子です。茶碗洗いなどのお手伝いもすすんでやってくれるので、とても助かります。最近は、こども園で習った歌を歌うのが楽しいようです。」

■今月の表紙

さくら保育園（軽舞）で7月18日、交通安全教室が行われ、園児が信号機の見方や横断歩道の渡り方を学びました。園児たちは、ペアになってしっかりと手をつなぎ、教わったとおりに横断歩道を渡っていました。

【今月の内容】

- | | |
|--------------------------|---------------|
| ☒第30回あつま海浜まつり
フォトスケッチ | ☒みんなの広場 |
| ☒厚真町グリーン・ツーリズム通信 | ☒まなびや |
| ☒まちの話題 | ☒各種お知らせ |
| ☒文化講演会のお知らせ | ☒健康情報・ほけんの掲示板 |
| ☒I LOVE あつま | ☒情報ひろば |

2013年8月

NO. 732

7月31日現在の人口
4,745人(前月比 - 5)
男 2,329人／女 2,416人
世帯数 2,086(前月比 ±0)